

保護者様

高嶺小学校PTA

会長 近藤浩治

生活安全部 村林静香

防犯ブザー、ご家庭でも定期的に点検を！

子どもに持たせる防犯ブザーの故障が多発しております。

国民生活センターにおいて、小学生が使用している防犯ブザーの実態調査をしたところ、半数以上が音がならなかったり、音が小さかったりしていることがわかりました。

防犯ブザーは、いざという時に作動しなければ意味がないものであるにも関わらず、最初から鳴らなかつた。という苦情が寄せられているそうです。

防犯ブザーを入手した際には、まず、音が鳴るかどうかを確認することが大切です。

また、（財）全国防犯協会連合会の優良防犯ブザー推奨品の中から8銘柄を10個ずつ、1メートルの高さから落下させる実験を行ったところ、6回までの落下で全銘柄のブザーが鳴らなくなる、あるいはブザーの音が小さくなる等の故障が生じたそうです。外部からの強い衝撃が故障の原因となりうります。

防犯ブザーを取り付けているランドセル、かばんなども含めて、乱暴な扱いをしないようにしましょう。

さらに、お子さん本人が防犯ブザーの必要性を忘れてしまっているケースもあります。

【事例1】通学途中で何かの拍子に鳴ってしまうと恥ずかしいし周りに迷惑と思い、鳴らないように電池を抜いていたり、電池が切れているのに気付いているが、わざと対処しない。

【事例2】見た目が格好悪いなどの理由でランドセルや手提げかばんに入れてある。



防犯ブザーの故障までの平均年月は1年9ヶ月ですが、個体によって差が大きく、それ以下の物も多く、持つていれば安心というわけではありません。

お子様の防犯ブザーは大丈夫でしょうか。通学団会などで学校でも点検していただいておりますが、お子さんがいざという時困らない様に保護者自身が手にとり、作動確認をし、点検してください。

また、お子さんには操作方法を教えるとともに、正しい場所に装着させ、非常時に使うものであるため、鳴らして遊んだり乱暴に扱わないように、お教え下さいます様、お願い致します。